

第3期中野市保育所整備計画

(素案)

(令和7年●月策定)

## 目次

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け期間	1
3	計画の基本方針	1
4	整備計画の進捗状況と現状	2
	(1) 整備計画の進捗状況	
	① 第1期整備計画の進捗状況	
	② 第2期整備計画の進捗状況	
	(2) 現状	
	① 中野市の人口	
	② 就学前児童、保育所入所率	
	③ 入所児童における3歳未満児の割合	
	④ 公立保育所ごとの児童数	
	⑤ 私立保育所、小規模保育事業所の児童数	
	⑥ 公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合	
	⑦ 施設の状況	
	⑧ 運営費の状況	
	⑨ 整備費の状況	
5	現状に対する課題	8
	(1) 松川保育園について	
	(2) 施設整備・運営に関する費用について	
6	公立保育所の今後の整備・運営方針	9
	(1) 施設の整備方針	
	① 松川保育園	
	(2) 保育所の運営方針	
	(3) 保育サービスの充実	

## 1 計画策定の趣旨

本市においては、地域における子育て支援の充実を図ることを目的とし、計画的に子育て環境の整備に努め、共働きの子育て世帯の増加など社会構造の変化に伴う保育需要（3歳未満児保育や長時間保育など）の増加、多様化する保育ニーズに柔軟かつ効率的・効果的な対応や老朽化した保育所の整備をするため、平成19年11月に「中野市保育所整備計画」を策定し、保育所の施設整備や民営化等を推進し、国が定める「保育所保育指針」に基づき、公立・民間の区別なく、安心・安全な保育を実施してまいりました。

その結果、児童及び保護者への支援の充実、保育サービスの向上に一定の成果を上げてきたところです。

本市の保育所需要は、少子化により減少していく一方、障がい児や医療的ケア児など支援が必要な児童の保育需要は高まるとともに、令和8年度に国が本格実施する「こども誰でも通園制度」など新たな保育需要も生じている状況にあります。

また、本市の公立保育所のうち築年数が50年近く経過し、老朽化が進んでいた平野・高丘保育園は民設民営による建て替えが完了しましたが、松川保育園は老朽化が進行しており、検討が必要です。

少子化や保育ニーズの多様化など時代の要請に適切に対応していくためには、公立保育所の役割を明確化した上で、公立・民間を含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく必要があります。そのために「第3期中野市保育所整備計画」を策定し、子育て世帯の支援体制を整え、本市の子育て環境の充実や保育の質の向上を図ることにより、本市の宝である子どもにとって安心・安全な保育環境を目指すものとします。

## 2 計画の位置付け

本計画は、本市の最上位計画である中野市総合計画をはじめ、子ども・子育て支援事業計画、公共施設等総合管理計画（公共施設最適化計画）及び行政改革大綱（行政改革集中改革プラン）と整合性を図ります。

また、計画の推進に当たっては、各計画との連携を十分に考慮し、新たな課題や環境の変化にも対応できるよう、柔軟な運用を図ります。

計画期間は令和8年度から令和12年度の5年間としますが、保育需要については、毎年度見込むこととし、大きな変動があった場合は、その都度、本計画を見直すものとします。

なお、保育所整備並びに民営化については、個別実施計画を別途策定し対応するものとします。

## 3 計画の基本方針

次の基本方針により施設整備の検討を行います。

- ① 第2期保育所整備計画で定めた「公立保育所の今後の整備・運営方針」を踏襲することを基本とし、子どもの最善の利益を考慮しながら検討を行うものとします。

- ② 乳幼児期の望ましい人格の形成を支援し、心豊で思いやりのある心身ともに健康な人柄を育成するため、保護者・保育者・行政・地域社会が密接な相互信頼関係を保持し、かつ連携を深めながら保育環境の整備を図ります。
- ③ 保育ニーズを的確に捉え、効率的な運営により保育ニーズの実現を目指します。  
今後一層期待される乳児保育を含めた未満児保育、休日保育、延長保育等の多様化する保育ニーズを適正に把握し、施設の定員の見直し等を含めた効率的な運営を行い、保育ニーズの実現を目指します。  
また、障がい児や医療的ケア児への支援や「こども誰でも通園制度」などにも対応します。
- ④ 民間活力の導入と活用を進め、民間に任せられるものは民間にという基本方針に基づき、公立保育所の民営化の検討を進めます。  
また、少子化に伴う児童数の減少に対応するため、保育園の統廃合の検討を進めながら適正規模、適正配置による保育園運営を行います。

## 4 整備計画の進捗状況と現状

### (1) 整備計画の進捗状況

#### ① 第1期整備計画の進捗状況（平成19年度～令和2年度）

廃止：みよし保育園

新設：さくら保育園 / 病児・病後児保育施設

建替：ひまわり保育園（旧西町保育園） / みなみ保育園 / ひらおか保育園

#### ② 第2期整備計画の進捗状況（令和3年度～令和7年度）

廃止：長丘保育園

統合：永田保育園を豊井保育園に統合（とよた保育園に名称変更）

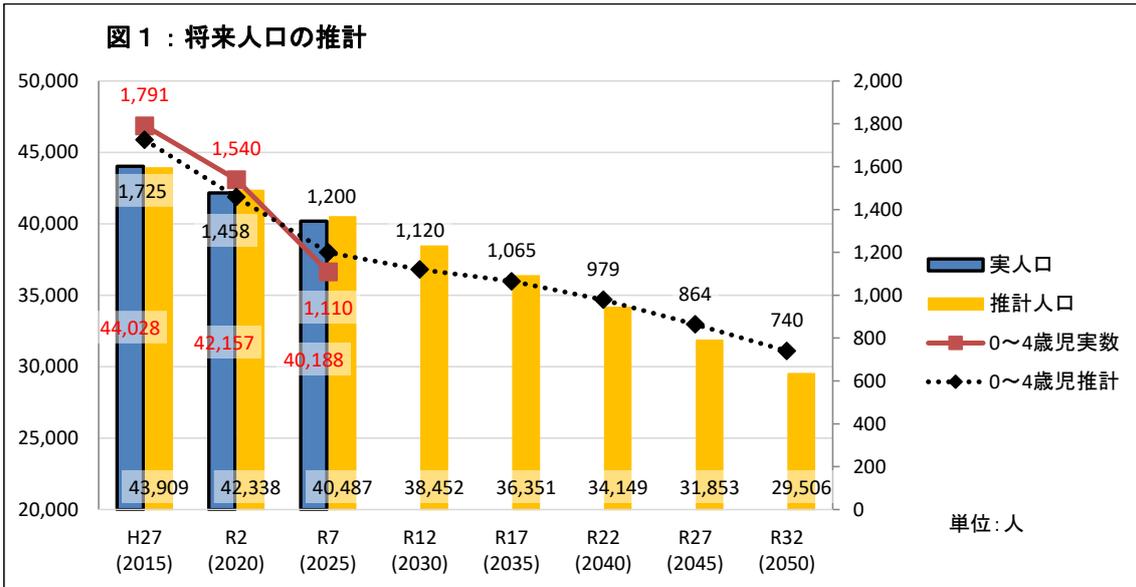
建替：平野保育園 / 高丘保育園（民設民営によるこども園に建て替え）

### (2) 現状

#### ① 中野市の人口

本市の総人口は長野県毎月人口異動調査において、令和7年（2025年）年4月1日現在40,188人ですが、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計によると、令和12年（2030年）には38,452人、令和22年（2040年）には34,149人、令和32年（2050年）には29,506人と推計され、令和7年と比較すると、令和12年には1,736人、令和22年には6,039人、令和32年には10,682人減少すると推計されています。

また、0歳から4歳までの年齢区分別では、平成27年から令和7年までの減少幅が大きいことから、令和12年から推計されている減少のスピードは、さらに早くなることも想定されます。（3頁、図1）



※ と の数値は、長野県毎月人口異動調査による

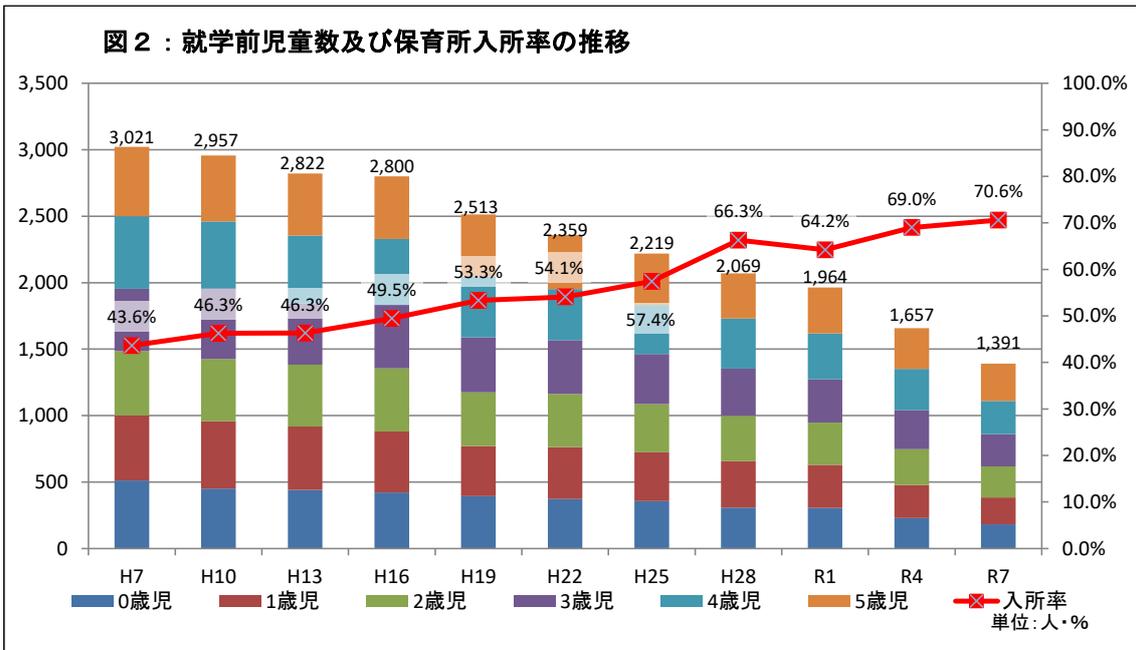
(H27・R2・R7は4月1日現在)

※ と の数値は、国立社会保障・人口問題研究所における令和2年の推計人口による

(H27・R2は10月1日現在の国政調査による実績値)

## ② 就学前児童数、保育所入所率

中野市の就学前児童数は、直近の令和7年が1,391人で、30年前の平成7年は3,021人と46.0%減少しており、少子化により減少傾向が続いていますが、保育所入所率は逆に43.6%から70.6%へと増加傾向が続いています。(図2)

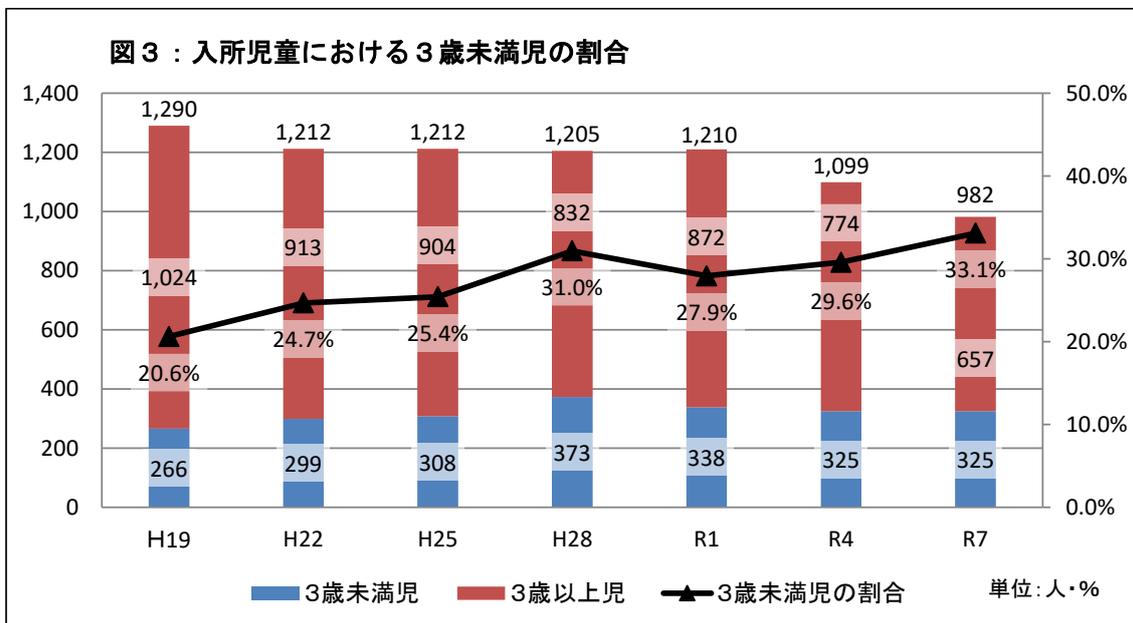


※就学前児童数は、長野県毎月人口異動調査による

※平均入所児童数は、各年度主要施策成果説明書の数値(令和7年度は4月1日現在の入所数)

### ③ 入所児童における3歳未満児の割合

中野市の入所児童における0～2歳児の割合は、平成19年で全体の20.6%から令和7年では全体の33.1%となっており、引き続き3歳未満児の保育需要が大きくなっています。(図3)



※令和2年度からは小規模保育事業所を含む

### ④ 公立保育所ごとの児童数

令和7年4月1日時点における公立保育所7園の定員の合計は920人に対して、入所児童数の合計は545人と定員に対する入所率は59.2%であり、7園中4園が平均の入所率を下回っています。

児童数で見ると最も多い園は、さくら保育園の102人(入所率85%)、最も少ない園は、とよた保育園の52人(入所率43.3%)の児童が通園しています。(5頁、表1)

### ⑤ 私立保育所、小規模保育事業所の児童数

本市には、私立保育所が1園、私立幼保連携型認定こども園が3園、私立の小規模保育事業所が2園あり、それぞれ地域に根差した保育・幼児教育に取り組んでいます。(市内に私立幼稚園1園あり)

就学前の児童数は減少していますが、入所児童数は大きな減少はなく、横ばい傾向が続いています。(5頁、表2)

表1：公立保育所の児童数（各年度4月1日現在の入所人員）

単位：人

保育園名	年度	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
※平野保育園	R6年度	210	0	10	19	38	34	28	129
	R7年度								
※高丘保育園	R6年度	140	0	6	7	14	14	23	64
	R7年度								
松川保育園	R6年度	160	0	9	15	15	26	28	93
	R7年度		0	5	14	17	14	24	74
たかやしろ 保育園	R6年度	120	0	6	12	17	13	19	67
	R7年度		1	12	6	14	15	15	63
さくら保育園	R6年度	120	2	10	18	26	24	24	104
	R7年度		3	15	14	21	26	23	102
ひまわり保育園	R6年度	100	1	11	17	19	21	22	91
	R7年度		1	13	16	22	19	19	90
みなみ保育園	R6年度	150	2	10	18	13	17	21	81
	R7年度		1	7	11	19	15	16	69
ひらおか保育園	R6年度	150	1	14	14	26	21	27	103
	R7年度		0	11	16	21	25	22	95
とよた保育園	R6年度	120	2	11	11	11	12	14	61
	R7年度		0	5	11	11	13	12	52
計	R6年度	1,270	8	87	131	179	182	206	793
	R7年度	920	6	68	88	125	127	131	545

※令和7年度から民設民営による幼保連携型認定こども園の平野・高丘さつきこども園として開園

表2：私立保育所、小規模保育事業所の児童数（各年度4月1日現在の入所人員）

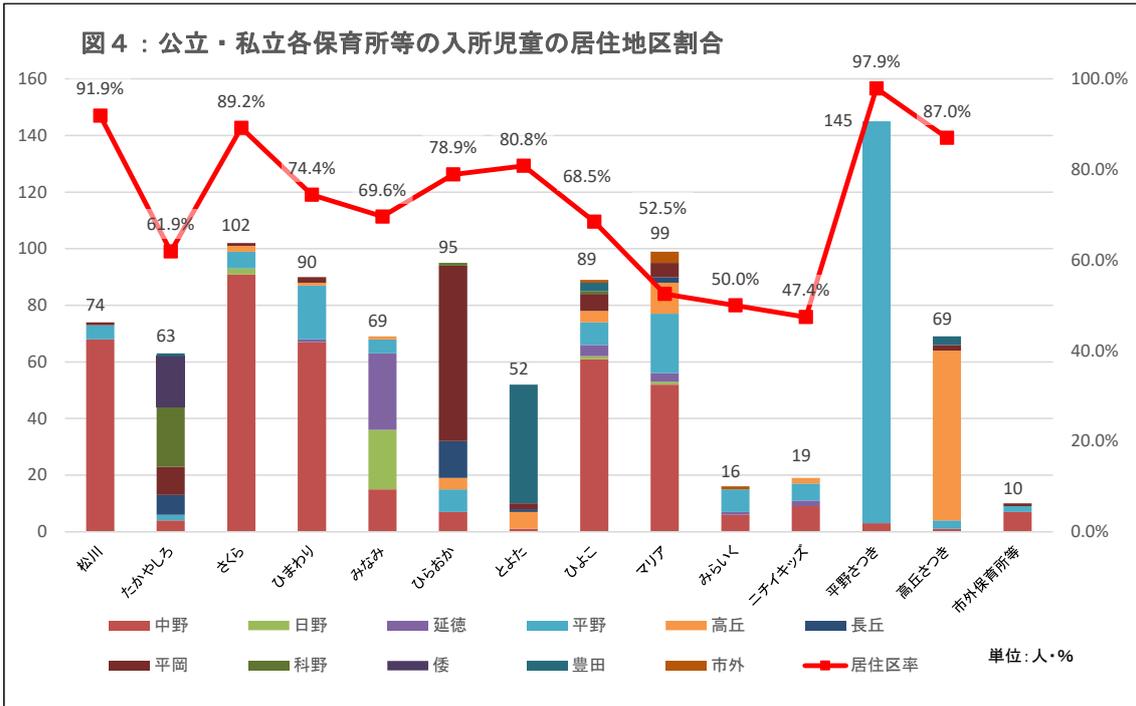
単位：人

保育園名	年度	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
ひよこ保育園	R6年度	90	2	14	17	19	21	17	90
	R7年度		2	14	16	19	17	21	89
マリア幼稚園	R6年度	110	0	14	18	17	27	22	98
	R7年度		0	10	24	24	15	26	99
中野みらいく 保育園	R6年度	19	5	6	8				19
	R7年度		2	6	8				16
ニチキッズ 中野保育園	R6年度	19	2	8	8				18
	R7年度		5	6	8				19
平野さつき こども園	R6年度	104							
	R7年度		2	19	18	32	37	37	145
高丘さつき こども園	R6年度	60							
	R7年度		2	10	11	16	15	15	69
計	R6年度	238	9	42	51	36	48	39	225
	R7年度	402	13	65	85	91	84	99	437

※私立幼稚園及び私立認定こども園の教育部分を除く

## ⑥ 公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合

入園する保育所等の選択（希望）理由としては、自宅から近い園という選択肢が最も多く、そのほか、保護者の勤務先に近い園、通勤経路に近い園、開所時間、延長保育時間、施設の運営方針など様々で、保育所等の居住地区割合にも反映しています。（6頁、図4）



保育園名	定員	中野	日野	延徳	平野	高丘	長丘	平岡	科野	倭	豊田	市外	合計	うち居住区児童数	地元率
松川	160	68			5				1				74	68	91.9%
たかやしろ	120	4			2		7	10	21	18	1		63	39	61.9%
さくら	120	91	2		6	2		1					102	91	89.2%
ひまわり	100	67		1	19	1		2					90	67	74.4%
みなみ	150	15	21	27	5	1							69	48	69.6%
ひらおか	150	7			8	4	13	62	1				95	75	78.9%
とよた	120	1				6	1	2				42	52	42	80.8%
ひよこ	90	61	1	4	8	4		6	1		3	1	89	61	68.5%
マリア	110	52	1	3	21	11	2	5				4	99	52	52.5%
みらいく	19	6		1	8							1	16	8	50.0%
ニチイキッズ	19	9		2	6	2							19	9	47.4%
平野さつき	104	3			142								145	142	97.9%
高丘さつき	60	1			3	60		2			3		69	60	87.0%
市外保育所等	-	7			2			1					10		
計	1,322	392	25	38	235	91	23	92	23	18	49	6	992		

## ⑦ 施設の状況

公立保育所の建築年度など施設の状況は、公立保育所施設概要（表3）のとおりです。

松川保育園は築年数が46年、たかやしろ保育園は築年数が23年と施設の老朽化が進んでいます。

旧永田保育園と統合のとよた保育園（旧豊井保育園）の築年数は31年ですが、令和3年度に改修を行っています。

表3：公立保育所施設概要

※経過年数については、建設年度の翌年4月からの算定です。

保育園名	所在地	定員(人)	建築年度 経過年数	土地(m <sup>2</sup> )	延床面積(m <sup>2</sup> )	構造	備考
松川保育園	中野1461-1	160	昭和53年度 築46年	3,153.88	1,349.46	鉄骨造	借地(1199.54m <sup>2</sup> )
たかやしろ保育園	赤岩1525-2	120	平成13年度 築23年	9,199.00	1,497.25	鉄骨造	
さくら保育園	小田中119-1	120	平成24年度 築12年	8,727.08	1,612.70	木造	
ひまわり保育園	三好町1-6-12	100	平成26年度 築10年	3,787.35	1,432.64	鉄骨造	借地(964.89m <sup>2</sup> )
みなみ保育園	新野335-2	150	平成28年度 築8年	4,557.85	1,638.92	鉄骨造	
ひらおか保育園	間長瀬496-2	150	令和元年度 築5年	7,688.61	1,658.35	木造 一部鉄骨造	借地(1574.27m <sup>2</sup> )
とよた保育園	豊津3079-1	120	平成5年度 築31年	4,927.01	930.70	鉄骨造	令和3年度改修
7園合計				42,040.78	10,120.02		

## ⑧ 運営費の状況

令和6年度決算額では公立保育所運営費の金額は約11億4,809万円で、児童1人当たり約138万円となります。公立保育所の運営費は、保育料のほか市税や普通交付税などが主な財源となりますが、私立保育所の運営費は国・県から保育所運営を目的として交付される交付金が財源となります。

なお、保育所の運営費で最も大きいものが保育士等の人件費で、その他光熱水費、法定点検その他設備の点検料、警備費用、土地の借り上げ料、備品・消耗品やコピー代、給食の賄材料費、施設の修繕料等があります。（図5）

図5：保育所の運営費に係る財源の内訳について

【公立の場合】



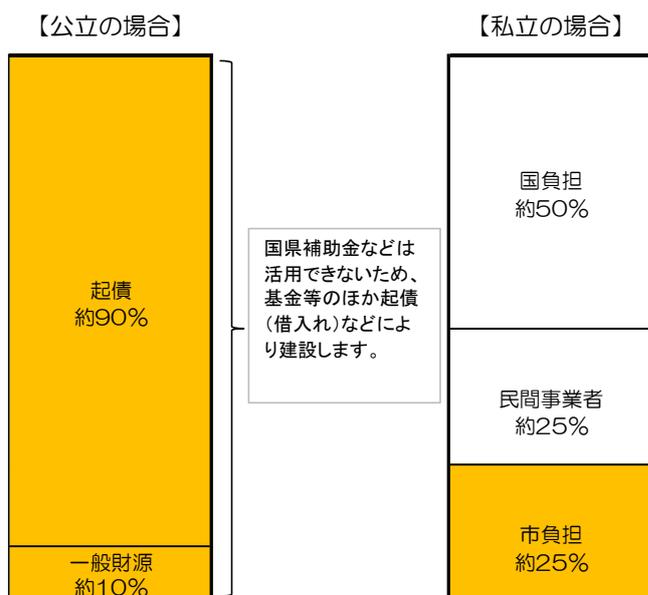
※一例であり、実施した保育の内容などにより、保護者の負担などが変わる場合があります。

## ⑨ 整備費の状況

平成 16 年に始まった国の「三位一体の改革」により、公立保育所の施設整備に対する国庫負担金、補助金制度が廃止されました。このため、市が施設整備を行う場合は、全ての費用を起債や一般財源で賄わなければなりません。

一方、民間事業者が施設整備を行う場合、原則、国が 1/2、市が 1/4 を負担するため、民間事業者も 1/4 の負担で済むことになります。(図 6)

図 6：保育所の整備費に係る財源の内訳について



※施設定員によって補助限度額は変更します。

## 5 現状に対する課題

### (1) 松川保育園について

#### ① 施設の老朽化

松川保育園の園舎は昭和 53 年に建設され 46 年が経過しており、令和 7 年度に民設民営により建て替えの旧高丘保育園(築 47 年)及び旧平野保育園(築 45 年)と同時期であり、現在の公立保育所では最も古い園舎です。

建築設備は、建物本体(躯体)よりも更新時期が短いため、毎年、給排水設備や電気設備等の老朽化により突然の故障や不具合が発生しています。施設の老朽化に伴い、今後、一層の修繕費用の増加が見込まれます。

#### ② 駐車場の手狭

他の公立保育所に比べ駐車場の敷地が狭いため駐車台数が少なく、保護者の送迎時には出入口なども混雑し、また、車からの乗り降りの際にも注意が必要となるなど、不便な状況となっています。

なお、当保育所の敷地には余裕はなく、隣接する建物もあることから駐車場の拡幅は、難しい状況です。

### ③ 入園希望者の減少

松川保育園の定員数は 160 人と公立保育園で最も多いところですが、園児数は令和 7 年 4 月 1 日現在で 74 人（新規入園児 12 人）、前年度 4 月 1 日現在の 93 人（新規入園児 19 人）から 19 人減少（新規入園児 7 人減）し、定員率 46.2%（前年比 13.8%減）で、平成 28 年度の 172 人をピークに減少傾向が続いており、少子化により今後も大幅な園児数の増加は見込めない状況です。

■松川保育園の入所児童の居住地割合（令和 7 年 4 月 1 日現在）

居住区	中野										平野		平岡	計
	東町	西町	松川	東松川	栗和田	上小田中	下小田中	西条	一本木	東吉田	岩船	吉田	新井	
0歳児														0
1歳児			3		2									5
2歳児			6	1			1		2	2	1	1		14
3歳児	1		6		5				1	2	1	1		17
4歳児	1	1	5		2	1		1	1	2				14
5歳児	1	1	9		5	1		1		4	1		1	24
小計	3	2	29	1	14	2	1	2	4	10	3	2	1	74
割合	4.0%	2.7%	39.2%	1.4%	18.9%	2.7%	1.4%	2.7%	5.4%	13.5%	4.0%	2.7%	1.4%	100.0%
計	68										5		1	74

### (2) 施設整備・運営に関する費用について

国では最近 10 年間あまりで、社会保障と税の一体改革による安定財源の確保を背景に、待機児童対策、幼児教育・保育の無償化、高等教育の無償化等の取組が進められ、少子化対策に係る予算規模は増加した一方、国からの公立保育所に対する国庫負担、補助金制度が廃止された後も、これまで、市では自主財源を確保しながら、施設の整備や運営を維持してきました。引き続き様々な手法による施設整備および運営の検討が必要です。

## 6 公立保育所の今後の整備・運営方針

### (1) 施設の整備方針

将来人口を見据えたうえで、適切な数の施設を配置することが必要です。次の方針に基づき施設の配置、整備を進めます。

#### ① 松川保育園

建設から 46 年が経過し老朽化が著しいことや、入園者数の減少が毎年度続いていることを考慮し、近隣の公立・私立の保育量の見込みに対する定員は十分に確保可能であることから、安心・安全な保育の提供を行うため、令和 12 年度末を目標に廃止とします。

## (2) 保育所の運営方針

市全体の保育事業運営として、標準的な保育を示せるように一定規模の公立保育所を維持しつつ、保護者の選択肢の拡充や、保育サービスの向上を目的に、次の①から⑤の方針により、民営化について検討します。

- ① 例年入所希望者が多く、安定した運営が見込まれる施設については、保育サービスの質を向上させるため、民間活力の導入について検討します。
- ② 民間事業者の選定や引継ぎ方法等について、保護者や地域の方と情報を共有し、ご理解を得ながら検討を進めます。
- ③ 保育環境の変化を最小限に抑えて、保護者の不安を解消するため、市の保育士と新たな事業者の保育士が合同で保育を行う引継ぎ保育や、市職員による巡回指導および助言、共同研修の開催などに取り組みます。
- ④ 施設の建替えについては、まず国の補助金が活用可能な民設を検討し、民間事業者の選定、敷地などの各種条件を整えながら推進します。
- ⑤ 上の①から④については、本計画とは別に計画を策定したうえで取り組みます。

また、民営化までの期間を十分に確保し、計画的に進めるよう検討します。

(例) 新園舎整備の場合	現園舎譲渡による場合
n-4年：民営化する年の公表	n-3年：民営化する年の公表
n-3年：事業者募集・決定	n-2年：事業者募集・決定
n-2年：設計・整備	n-1年：共同保育
n-1年：整備・共同保育	n年：民間移管
n年：民間移管	

### (参考) 保育所の運営方法

#### ① 公設公営

施設の設置管理、保育業務のすべてを市が行います。

#### ② 公設民営

施設の設置管理は市が行い、保育業務のみを民間事業者に委託する「運営委託」か、あらかじめ市が定めた期間において民間の事業者に管理を任せる「指定管理者制度」があります。

#### ③ 民設民営

公立保育所の土地および建物を民間に譲渡または貸与し、民間事業者が保育所を運営する「民間移管」か、民間事業者が新たな保育所を建設・運営する「新設」が考えられます。なお、完全に民間施設となるため、国の運営費負担金が適用されるほか、建替え費用や大規模改修の費用に対し、国の補助金が活用できます。

### **(3) 保育サービスの充実**

家族構成や就労形態の変化に伴い、保育標準時間、保育短時間の基本的な保育以外の保育需要が多様化する中で、次の内容について、取組を進めます。

#### **1. 特別保育等（保育サービス）**

##### **① 延長保育**

保護者の保育需要に対応できるよう全ての保育所で実施しています。公立保育所は午前7時30分から午後6時30分、私立ひよこ保育園及び私立平野さつきこども園・私立高丘さつきこども園は午前7時から午後7時までです。保育需要を把握しながら、時間の延長などを検討します。

##### **② 一時的保育**

保護者の就労、病気、看護・介護等により、家庭保育が一時的に困難となる児童を保育できるよう、公立保育所3園（たかやしろ、とよた、みなみ保育園）で実施しています。保育需要を把握しながら、引き続き、適正な保育の提供に努めます。

##### **③ 休日保育**

日曜・祝日の保護者の就労に対応するため、さくら保育園で実施しています。保護者の需要を把握しながら、引き続き、適正な保育の提供に努めます。

##### **④ 病児・病後児保育**

病気の治療中または回復期にあり、保護者の就労等やむを得ない事情により家庭で保育のできない児童を預かるため、北信総合病院敷地内にある病児・病後児保育施設および私立ひよこ保育園で実施しています。保護者の需要を把握しながら、引き続き、適正な保育の提供に努めます。

#### **2. 食育活動の推進等**

生涯にわたって健康で質の高い生活を送る基本としての「食を営む力」の育成に向け、全ての保育所において食育を推進しています。また、地産地消、職員間や家庭との連携により食育を推進するほか、食物アレルギー児童に対する除去食対応も行い、保護者の需要を把握しながら、安全安心な給食の提供に努めます。

#### **3. 保育の質の向上**

- ① 保育士の研修の機会を充実させます。
- ② 保護者や地域住民、関係機関などとの連携や交流に努めます。
- ③ 関係機関と連携し、保育所の指導監査を実施します。

#### 4. 保育所 I C T 化の推進

保育士の負担軽減と保護者への情報発信等の利便性の向上を図るため、保育所の I C T 化を進めます。

##### 近年の主な保育サービスの実績・今後のサービス予定

- ・ 保育業務支援システムコドモン導入（R 2）
- ・ 業務効率化用タブレット・Wi-Fi 整備（R 5）
- ・ ひらおか保育園園庭芝生整備（R 5）
- ・ 紙おむつ持ち帰り廃止（R 5）
- ・ 紙おむつ定額サービス導入（R 6）
- ・ さくら保育園・とよた保育園遊戯室空調設備設置（R 6）
- ・ ひらおか保育園遊戯室空調設備設置（R 7）
- ・ 3歳以上児主食（ごはん）提供（R 7 県内 19 市中 3 市目）
- ・ お昼寝用コット（ベット）整備（R 7 県内 19 市中 初）
- ・ お昼寝（午睡）センサー整備（R 7 県内 19 市中 初）
- ・ みなみ保育園園庭芝生整備（R 7 予定）

第3期中野市保育所整備計画（素案）に係る松川保育園保護者説明会 顛末	
日 時	令和7年7月31日（木）午後6時30分～午後7時20分
会 場	松川保育園延長保育室
出席者	<p>【保護者】  現地参加：4名／オンライン参加：11名 &lt;計&gt;15名</p> <p>【報道機関等】  北信ローカル社／信濃毎日新聞社 &lt;計&gt;2社</p> <p>【事務局（中野市子ども部）】  子ども部長、保育課長、課長補佐兼施設係長、保育係長、  全公立保育所園長（7名）、施設係担当、保育係担当 &lt;計&gt;13名</p>
配布資料	次第、第3期中野市保育所整備計画（素案）

#### 【協議会内容】

1 開 会 (保育課長)	(略)
2 あいさつ (子ども部長)	(略)
3 説明 (保育課長補佐)	<p>資料「第3期中野市保育所整備計画（素案）」に基づき説明</p> <p><u>P 1</u></p> <p>平成19年11月に第1期中野市保育所整備計画を策定し、保育所の整備、民営化の推進等、国が定める保育指針等に基づいて、公立、民間の区別なく、安心安全な保育を実施してきた。</p> <p>少子化が進行するとともに、障がい児、医療的ケア児など支援が必要な児童に対する保育需要の高まりや令和8年度から開始するこども誰でも通園制度といった新たな保育需要が生じている状況。</p> <p>こういったものに適切に対応していくために、公立保育所の役割を明確化した上で、公立・民間含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく目的で、第3期中野市保育所整備計画を策定するもの。</p> <p>計画期間は令和8年度から令和12年度の5か年とし、環境に大きな変化があった場合には、都度、計画の見直しを行うこととする。</p> <p><u>P 2・3</u></p> <p>整備計画の進捗状況として、平成19年度から令和2年度までの第1期計画において、みよし保育園の廃止、さくら保育園及び病児・病後児保育施設の新設、ひまわり保育園（旧西町保育園）</p>

及びみなみ保育園、ひらおか保育園の建て替えを実施し、令和3年度から令和7年度までの第2期計画において、長丘保育園の廃止、永田保育園と豊井保育園の統合（とよた保育園）、民設民営による平野・高丘保育園の建て替えを実施したもの。

中野市の人口等現状について、総人口及び就学前人口について、いずれも減少傾向が続いているが、核家族化、共働き世帯の増加等により保育所入所率については、増加傾向となっている。

#### P 4・5・6

公立保育所の児童数については、全公立保育所について令和6年度と令和7年度を比較した際に児童数が減少しており、松川保育園については、定員160名に対して、令和6年度の児童数は93名、令和7年度の児童数は74名となり、定員に対する入所率は令和7年度46.2%となっている。公立保育所全体でも定員に対する入所率は59.2%となっており、どの公立保育所においても受け入れは十分に可能な定員数となっている状況。

私立保育所等については、令和6年度と令和7年度を比較した際も児童数はほぼ横ばいの状態となっており、どの私立保育所等においても、ほぼ定員数通りの児童数となっており、児童数は安定している状況。

公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合については、概ね各保育所等がある地区の居住者の割合が多く、自宅から近い、保護者の勤務地が近い、通勤経路、開所時間や延長保育時間等様々な理由により選ばれているものと思われる。

#### P 7

施設の状況について、松川保育園は建築年が昭和53年であり、現在、築46年となる。また、たかやしろ保育園についても、建築年が平成13年度であり、現在、築23年となる。現在、この2つの園の老朽化が進んでいる状況。

とよた保育園は建築年が平成5年度であり、築31年となるが、永田保育園と豊井保育園の統合に当たり令和3年度に大規模改修を行っており、建物としては健全な状況。

なお、松川保育園及びひまわり保育園、ひらおか保育園については、備考欄に記載のとおり、園の敷地に一部借地がある状況となる。

#### P 8・9

現状に対する課題について、ここまでの説明の中でも触れさせていただいた内容から、松川保育園については検討が必要な

状況である。

理由について、まず、園舎の築年数が46年となり、給排水設備や電気設備の老朽化により、故障や不具合が頻繁に発生している状況。施設の老朽化に伴い今後も修繕費が増加することが見込まれる状況。

また、駐車場の手狭ということで、他の公立保育所に比べて、駐車場の敷地が大変狭く、駐車場の台数がかなり少ない状況。

保護者の皆さんにはご不便の方をおかけしているが、隣接する建物もあり、拡幅は難しい状況。駐車場については、少しでも何かできることがないか、検討しているところ。

併せて、入園希望者の減少もあり、児童数は昨年度に比べて19人減少し、対定員率も46.2%となっている状況。松川保育園の入所児童の年齢別・居住地区割合では、5歳児（年長）の人数が24人となっており、来年3月に卒園すると児童数50人となり、来年度新規に入園する児童数が何人かにもよるが今年度と同様に12人程度ということであれば、来年度は60人前後の児童数となる状況。

このような状況を踏まえ、今後の方針として、適正規模・適正配置による保育所運営を行うため、松川保育園について令和12年度末を目標に廃止とする。なお、新規入園者及び中途入園者の受け入れについては、これまで通りとし、令和12年度まで行う予定。

#### P10

保育所の民営化については、民間活力の導入について引き続き検討するものとするが、今日現在、具体的な計画はなく、今後の状況等を踏まえ、必要に応じて検討するものとする。

#### P11・12

保育サービスの充実について、家族構成や就労形態の変化に伴い、多様化する保育需要に対応するため、延長保育や一時的保育、休日保育等必要な取り組みを行うものとする。

#### 4 質疑応答

Q1（保護者）

松川保育園廃止後、松川保育園の職員はどうなるのか。

A1（保育課長）

他の公立保育所への異動となる。

Q2（保護者）

他の公立保育所の定員は増えるのか。

A2（保育課長）

現在は、就学前人口の推計値等から5年後の児童数を考えると、定員数について現状のままで足りる想定とはなるが、あくまでも推計値であるため、5年後の状況をみて、必要な場合は定員数の増員についても検討する。

- Q 3 (保護者) 施設の定員は基準等に基づくものなのか。  
A 3 (保育課長) 面積等の基準を踏まえて決定している。
- Q 4 (保護者) 松川保育園を廃止した場合、職員の数足りるのか。  
A 4 (保育課長) 松川保育園の職員が他の公立園へと異動となることから、足りる想定となるが、支援が必要な児童への加配を行っているなど、現状においても基準は満たしているが十分な状況でない。
- Q 5 (保護者) 5年後松川保育園が廃止となった際に、転園先は選べるのか。  
A 5 (保育課長) 可能な限り希望に沿うように市で調整したいと考えているが、施設の空き状況等により必ずしも希望通りになるとは限らない。
- Q 6 (保護者) 今回示された松川保育園の5年後廃止の方針をうけて、下の子の入園に併せて上の子も転園させたい、という保護者も出てくるかと思うが、2人まとめた希望する園への転園は可能か。また、更に児童数の減少が加速すると思うが、今後、廃止時期が早まるといったことはあるのか。  
A 6 (保育課長) 同時の入園・転園について、施設の空き状況等により、希望に沿えない場合もある。廃止時期については、現状は児童数が減少した場合であっても、通う児童がいる限り、令和12年度末まで運営する方針としている。
- 5 その他  
(保育課長補佐) 第3期中野市保育所整備計画の策定に向け、市民向けの座談会を次のとおり開催する。  
タイトル) 安心・安全な保育環境を考える市民座談会  
～第3期中野市保育所整備計画の策定に向けて～  
日時 ) 令和7年8月23日(土) 午前10時から  
会場 ) 中野市市民会館ソソラホール 小ホール  
対象者 ) 中野市民  
その他 ) 託児所あり
- 6 閉会  
(保育課長)  
(終了時間) 午後7時20分

第3期中野市保育所整備計画（素案）等に対するご意見と市の考え方

- (1) 募集期間 令和7年8月5日（火）～8月13日（水）
- (2) 対象者 松川保育園在園児79名の保護者
- (3) 意見提出 6名

意見の概要（原文）	市の考え方
<p>≪意見1≫</p> <p>■お姉ちゃんの看護があり、浣腸から胃ろうからの注入、オムツ換えや着替えなど介護も要するなか、家事、育児のみでも忙しく、中々休まる時間がなく困っています。</p>	<p>≪回答1≫</p> <p>■市では、登録会員の協力により、お子さんのお預かりと保育園への送迎に対応したファミリー・サポート・センター事業や、家事・育児への不安や負担を抱える子育て世帯への子育て世帯訪問支援など、母子保健と児童福祉の専門的な知識を有する職員が連携・協力し、お子さんとそのご家族に寄り添った相談・支援を行っています。</p> <p>詳しくは「市子育て課」又は「こども家庭センター（市健康づくり課・市子ども相談室）」へご相談ください。</p> <p>■市では、日常的に医療的なケアが必要な児童の保育所への受け入れ体制を整えております。</p> <p>必要な医療的ケアの内容等個別の事情による部分もありますので、詳しくは「市保育課」までご相談ください。</p>
<p>≪意見2≫</p> <p>■松川保育園の新規入園の受け入れは何年度までしますか？</p>	<p>≪回答2≫</p> <p>■計画では、令和12年度入園までは今までどおり、新規入園及び途中入園の受け入れを行うこととしております。</p>
<p>≪意見3≫</p> <p>■zoomでの丁寧な説明ありがとうございました。子供達3人みんなお世話になって通った保育園は無くなるのは寂しいですが、老朽化や少子化のことを考えるとしょうがないのかなと思います。これから通う予定でいた子供達が安心して次の保育園へ通えるのと、先生方も働きやすい対応をしてほしいです。</p>	<p>≪回答3≫</p> <p>■児童及び保護者が安心して通える環境と職員が安心して勤務できる環境の整備を進めて参ります。</p>
<p>≪意見4≫</p> <p>■当日出席したので、特にありません。</p>	
<p>≪意見5≫</p> <p>■とくにないです！</p>	
<p>≪意見6≫</p> <p>■ないです</p>	

<b>安心・安全な保育環境を考える市民座談会</b> <b>～第3期中野市保育所整備計画の策定に向けて～ 顛末</b>	
日 時	令和7年8月23日（土）午前10時～午後0時05分
会 場	ソソラホール小ホール
出席者	<b>【中野市民】</b> 13名 <b>【報道機関等】</b> 北信ローカル社 <b>【事務局（中野市子ども部）】</b> 子ども部長、保育課長、課長補佐兼施設係長、保育係長、 公立保育所園長（6名）、保育係担当 <計>11名
配布資料	次第、第3期中野市保育所整備計画（素案）

**【協議会内容】**

1 開 会 (保育課長)	(略)
2 あいさつ (子ども部長) (松川保育園長)	(略)
3 説明 (保育課長補佐)	<p>資料「第3期中野市保育所整備計画（素案）」に基づき説明</p> <p><u>P 1</u></p> <p>平成19年11月に第1期中野市保育所整備計画を策定し、保育所の整備、民営化の推進等、国が定める保育指針等に基づいて、公立、民間の区別なく、安心安全な保育を実施してきた。</p> <p>少子化が進行するとともに、障がい児、医療的ケア児など支援が必要な児童に対する保育需要の高まりや令和8年度から開始することも誰でも通園制度といった新たな保育需要が生じている状況。</p> <p>こういったものに適切に対応していくために、公立保育所の役割を明確化した上で、公立・民間含めた市全体での保育の供給体制を計画的に推進していく目的で、第3期中野市保育所整備計画を策定するもの。</p> <p>計画期間は令和8年度から令和12年度の5か年とし、環境に大きな変化があった場合には、都度、計画の見直しを行うこととする。</p> <p><u>P 2・3</u></p> <p>整備計画の進捗状況として、平成19年度から令和2年度までの第1期計画において、みよし保育園の廃止、さくら保育園及び病児・病後児保育施設の新設、ひまわり保育園（旧西町保育園）</p>

及びみなみ保育園、ひらおか保育園の建て替えを実施し、令和3年度から令和7年度までの第2期計画において、長丘保育園の廃止、永田保育園と豊井保育園の統合（とよた保育園）、民設民営による平野・高丘保育園の建て替えを実施したものの。

中野市の人口等現状について、総人口及び就学前人口について、いずれも減少傾向が続いているが、核家族化、共働き世帯の増加等により保育所入所率については、増加傾向となっている。

#### P 4・5・6

公立保育所の児童数については、全公立保育所について令和6年度と令和7年度を比較した際に児童数が減少しており、松川保育園については、定員160名に対して、令和6年度の児童数は93名、令和7年度の児童数は74名となり、定員に対する入所率は令和7年度46.2%となっている。公立保育所全体で見ても定員に対する入所率は59.2%となっており、どの公立保育所においても受け入れは十分に可能な定員数となっている状況。

私立保育所等については、令和6年度と令和7年度を比較した際も児童数はほぼ横ばいの状態となっており、どの私立保育所等においても、ほぼ定員数通りの児童数となっており、児童数は安定している状況。

公立・私立各保育所等の入所児童の居住地区割合については、概ね各保育所等がある地区の居住者の割合が多く、自宅から近い、保護者の勤務地が近い、通勤経路、開所時間や延長保育時間等様々な理由により選ばれているものと思われる。

#### P 7

施設の状況について、松川保育園は建築年が昭和53年であり、現在、築46年となる。また、たかやしる保育園についても、建築年が平成13年度であり、現在、築23年となる。現在、この2つの園の老朽化が進んでいる状況。

とよた保育園は建築年が平成5年度であり、築31年となるが、永田保育園と豊井保育園の統合に当たり令和3年度に大規模改修を行っており、建物としては健全な状況。

なお、松川保育園及びひまわり保育園、ひらおか保育園については、備考欄に記載のとおり、園の敷地に一部借地がある状況となる。

#### P 8・9

現状に対する課題について、ここまでの説明の中でも触れさせていただいた内容から、松川保育園については検討が必要な状況である。

理由について、まず、園舎の築年数が46年となり、給排水設備や電気設備の老朽化により、故障や不具合が頻繁に発生している状況。施設の老朽化に伴い今後も修繕費が増加することが見込まれる状況。

また、駐車場の手狭ということで、他の公立保育所に比べて、駐車場の敷地が大変狭く、駐車場の台数がかなり少ない状況。

保護者の皆さんにはご不便の方をおかけしているが、隣接する建物もあり、拡幅は難しい状況。駐車場については、少しでも何かできることがないか、検討しているところ。

併せて、入園希望者の減少もあり、児童数は昨年度に比べて19人減少し、対定員率も46.2%となっている状況。松川保育園の入所児童の年齢別・居住地区割合では、5歳児（年長）の人数が24人となっており、来年3月に卒園すると児童数50人となり、来年度新規に入園する児童数が何人かにもよるが今年度と同様に12人程度ということであれば、来年度は60人前後の児童数となる状況。

このような状況を踏まえ、今後の方針として、適正規模・適正配置による保育所運営を行うため、松川保育園について令和12年度末を目標に廃止とする。なお、新規入園者及び中途入園者の受け入れについては、これまで通りとし、令和12年度まで行う予定。

#### P10

保育所の民営化については、民間活力の導入について引き続き検討するものとするが、今日現在、具体的な計画はなく、今後の状況等を踏まえ、必要に応じて検討するものとする。

#### P11・12

保育サービスの充実について、家族構成や就労形態の変化に伴い、多様化する保育需要に対応するため、延長保育や一時的保育、休日保育等必要な取り組みを行うものとする。

#### 4 質疑応答 Q1（参加者）

松川保育園はあと耐用年数が5、6年しかないところで、ダメだという結論を出しているのだと思うが、建て替えが必要なのか実際に今一番困っている職員の生の声を聞きたい。一番危ないのは道路で、玄関から直接子どもが飛び出るのが一番怖いと思う。保育園の北側の自動車屋が空いているから、土地を市で借りて、玄関の向きを変えれば過ごしやすいのではないか。

それか建設組合事務所や職業訓練校の方へも移動してもらえば、有効に利用できるのではないか。

環境はすごくいいと思う。山も近い。ただ、大きな道路が目の

A 1 (松川保育園長)

前にあること、駐車場の都合があるけれども、木造でも 60 年持って古民家の人気があるような時代である。

地域の方に心配していただけることは、本当にありがたいと感じています。駐車場が狭く、危ないところは保護者の皆様にお知らせ等しながら安全に使えるように対応しています。

園舎は築 46 年となると、電気設備や施設の不具合が色々出てきていますが、保育課と相談して修繕対応等しています。

室内は現状では床も古く、0 歳児を安全に預かるのは難しいところもあり、今は 1 歳児から入所をお願いしています。

Q 2 (参加者)

いい保育園なんだなと思って感心している。施設的なことを言えば、躯体については定期的に必要な修繕対応等しているはずであるので、その他雨漏り対応を適切に実施さえしていけば長く利用可能であると思う。園児に対し、危険箇所があるのでここは注意してね、というのも教育だと思う。良い環境だけ整えればいい、というものではないと考える。地域で職員や園児等とすれ違った時にはあいさつもとてもよくそういう地域との関わりも大事にしたいため、今の場所(立地)も大事にしていきたい。建物が古いからというのではなく、もう少し頭を使っていただき、検討をお願いしたい。また、環境だけを整備するのではなく、大人の質も上げていかなければ、良い子供は育たないと思う。

A 2 (保育課長)

ご意見ありがとうございます。

先を見越して考えていっていただきたいというご意見もいただいた中で、今回ご説明をさせていただいた通り、今後、子供の人数が減ってくるというところで、適正な保育所の数ということを考えて、松川保育園につきましては廃園という状況となる。そういった中で、いただいたご意見や人口等はあくまでも推計であることから今後 2 年先、5 年先の状況を見たいうえで判断する必要があると考えています。また、先ほどお話いただきました、松川保育園の子ども達が生き生きとしているという部分について、今後も子ども達が楽しく過ごせる環境を維持していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

Q 3 (参加者)

今後はたかやしろ保育園についてどうするのか、という話にもなっていくのではないかと懸念している。たかやしろ保育園の今後の見通しについてお聞きしたい。平野保育園と高丘保育園の時も情報が入ってくるのが遅かったため、情報提供はこまめに対応をお願いしたい。また、現場で働く保育士さんもこの松川保育園の件については、気にしていると思うが、どんな声があるかというのをお聞きしたい。その他、松川保育園はどうしようもないのかもしれないが、他の保育園については、補修に必要な予算というのは適切に要求のうえ、対応をお願いしたい。最後に、総合計画との絡みや今回示された整備計画(素案)について

意見があった場合に、修正いただける可能性はあるのか、お聞きしたい。

A 3 (保育課長)

たかやしろ保育園はどうなるのかについては、松川保育園の次に古いこともあり、修繕など必要なものは計画的に行っていきます。廃止は今のところ予定はありませんが、子どもの人数など、そういったところで今後検討していく部分かと思います。

高丘と平野保育園の民設民営の時に情報発信や説明するのが遅かったのではないかということから、今回の整備計画では早め早めに、ホームページに保育所等運営審議会や今回の説明会など、なるべく早く発信していきたいと考えております。

職員への周知につきましては、資料などの情報は職員に市民の皆様と同時に共有をしているところです。職員からの意見については、園長を通じて保育課の方へということをお願いをしているところではありますが、現在、提出はない状況です。

保育所の修繕対応については、水漏れ対応等必要な部分については、園と連絡を取りながら対応をしています。

また、第1期及び第2期の保育所整備計画についても、変更が必要であれば都度見直しをかけてきたところです。第3期の計画についても、来年度から5か年の計画となりますが、こちらの想定と変わってくる部分等も出てくると思いますので、その場合は見直しを行いたいと考えています。

A 3 (子ども部長)

今回は、保育所整備計画の話となりますが、現在策定中の総合計画とも整合性を図っていく形となります。市全体としてどのような施設を残し、修繕等していくのか、運営していくのか、というのは市全体の中の方針で検討しているところとなりますので、今回お示しさせていただいた保育所整備計画の素案については、そういった市全体の流れの中で、検討し、お示ししているもの、ということでご理解をお願いします。また、審議会等の情報についても、できるだけ早く公開して皆様からの意見をいただき、審議会の中でしっかり議論していくことが大事だと考えています。

要望 (参加者)

園長の方々への要望ということになるかと思うが、職員会議等で職場の方々も保育内容だけではなく施設整備に関する事等も議論できるようなそういう環境づくりをお願いしたい。

Q 4 (参加者)

4ページに未満児の保育需要が高まっているというような情報があるが、特に0歳児について、希望はあるが、公立保育所がもういっぱい入れない、ということで私立の保育所へ、ということがあるが、公立は定員に対して半分程度しか入っていないという状況の中で、入りたい人が入れないという原因は何か。また、松川保育園の0歳児について、施設が心配だから0歳児の受け入れはやりませんということだが、普通はどうやったら受け入れられる施設とできるか、ということを考えるべきだと思う

A 4 (保育課長)

が、どう考えるか。

1点目の0歳児で希望者が入れないのはなぜか、という部分ですが、旧平野、旧高丘、松川保育園については、0歳児の受け入れを行っていないのですが、施設面や設備面の理由によることとなります。旧平野・旧高丘保育園については、民設民営による建て替え後、0歳児の受け入れを行っており、0歳児の受け入れ体制は定員としても広がったと考えておりますし、小規模保育施設もあることから、中野市としての受け入れ体制は整ってきているというように考えています。

また、入りたい園に入れられない方がいるという部分についてですが、施設全体の定員とすれば余裕があったとしても特定の年齢のクラスについていっぱいになっている、という状況においてそのクラスに申込があった場合は、受け入れができていない、というのは事実となります。ただ、希望したところに受け入れができるように改善していくべきでないか、というご意見もいただいた中で、職員の配置により改善できる部分もあろうかと思えますので、全国的に保育士不足という状況ではありますが、継続して職員体制についても整えていけるよう考えていきたいと思えます。

Q 5 (参加者)

定員の見直しは検討してこなかったのでしょうか。定員に対して入園者が少なすぎるのであれば、定員を減らし、実情に合わせることで、国からくるお金が増えると思うのですが。市として交付税が少しでも多くもらえるよう工夫をお願いしたい。

A 5 (保育課長)

私立保育所の場合は、ご指摘のとおり、公定価格に定員が影響するのですが、公立保育所の場合は、定員が交付税の額の算定に影響しない仕組みとなっています。なお、交付税措置については、各種数値等適切に報告をしているところですので、よろしく申し上げます。

Q 6 (参加者)

松川保育園の廃止については、反対です。今松川については、世帯数が増えている地区でもあり、学校が近い、保育園が近いということ言われてきたところに、松川保育園が廃止というのが公表された。園児数について、少なければ少ないなりのメリットがあると思う。ただ、先に意見があったとおり、松川保育園については、正面道路が交通量も多く、交通事故の発生が心配であり、隣地も空いていることから借りる等して早急に保護者が安心して送迎できる環境としてほしいと考える。

A 6 (子ども部長)

駐車場で足りない部分は土地を借りたらいいのではないかとご意見でしたが、今回、整備計画の素案の中で、松川保育園を廃止とするという方針をお示しした中で、そういった対応というのは難しい状況となります。先ほど、園長からも話がありましたが、職員の駐車場については旧西友の敷地を使用するなど工夫しており、保護者の皆さんにはご不便をおかけしては

- れども、安全に配慮しながら、これまで運営してきたわけです。安全確保という面では非常に気を使うところではありますので、別の方法も含めながら検討していきたい。
- Q 7 (参加者) 松川保育園に隣接する中高建設労働組合の駐車場は組合ではほとんど利用していないので、借りたらどうか。
- A 7 (保育課長) 中高建設労働組合の駐車場については、現在も利用させていただいているところです。また、イベント等がある場合については、中野地域職業訓練センターの駐車場についても一時的にお借りし、駐車場の確保に努めているところです。土地を購入したらどうか、というご意見については、令和 12 年度末をもって廃止という方針をお示しさせていただいた中で、現在は難しい状況です。
- Q 8 (参加者) それでは、廃止予定の令和 12 年度末までは駐車場の手狭、という部分については、保護者が我慢をしろということか。
- A 8 (保育課長) 先ほどご回答させていただいたとおり、中高建設労働組合や中野地域職業訓練センターの駐車場をお借りしたり、職員が旧西友の駐車場を使うことで、少しでも保護者の方が安心して利用できるような対応を行っている状況となります。
- 要望 (参加者) 廃止の方針であったとしても、少しでも保護者の方が安心して利用できる環境となるよう継続して検討いただきたい。
- 回答 (保育課長) 令和 12 年度末に廃止予定だから何も手を入れないということは一切なく、必要な修繕等を行っています。一例として、松川保育園については、和式便器が多く残っていましたので、昨年度全ての便器を洋式化するための改修工事を実施しました。また、今年度は熱中症対策のため、遊戯室へスポットクーラーの導入を行ったところです。
- 要望 (参加者) 必要な対応を行っていただき、ありがとうございます。ただ、施設のことだけでなく駐車場の関係についても、安全対策上必要なことだと思いますので、継続して検討をお願いします。
- 回答 (子ども部長) 松川保育園について、今まで長い間、駐車場の確保等様々な課題について、検討・対応を重ね、現在まで安心安全な保育所運営を実現してきたところです。本日いただいたご意見も参考にさせていただき、引き続き、安心安全な保育所運営を行っていただけるように努めてまいります。
- Q 9 (参加者) 国が真剣に取り組むべきところだと思うが、市として保育士の処遇改善への取り組みはどうか。
- A 9 (保育課長) 手当等も含めて給与面の改善について、取り組んでいるところとなります。また、残業抑制等働き方についても、園と連携しながら必要な取り組みを行っています。
- Q10 (参加者) 松川保育園の立地について、中野地区の北部をカバーする園としての位置付けだったと考えるがどうか。また、素案の 7 ページに記載の運営費の状況について、一般財源が約 94%という

- 記載があるが、全て税収で賄われているかのような印象を受けるので、交付税が主な財源という部分も説明した方がよいと思う。また、保育所について、適正配置という話をされたが、場所（立地）についてはとても重要な要素なので、今まで通っていた地区の方々はどのようなになるのか、という部分について丁寧な説明が必要と考えます。
- A10（保育課長） 松川保育園を廃止するという方針を今回出させていただいた中で、保護者の方々からのご意見やパブリックコメントでのご意見で立地の部分について送迎対応等のご意見があるようでしたら検討していきたいと考えます。
- Q11（参加者） 5年後に廃止する園で働く職員がどのように感じるのか、受け止めているのか、という部分について気になりますが、どうでしょうか。
- A11（松川保育園長） 職員会等で園長からも現場の職員に説明をさせていただきましたが、5年後に廃止というのは残念ではありますが、通園する園児が少しでもこの園で楽しい思い出が作れるような保育園づくりをしていきたい、という思いを職員間で改めて共有したところ。本日、地域の方から、とてもいい保育園である、というお褒めの声をたくさんいただけたということはとても嬉しいことであり、本日の座談会について、園の職員にも共有したいと思います。
- 要望（参加者） 園児のことを第一優先で考えていただきたい。
- Q12（参加者） 保護者の方からの意見（反応）は何かありましたか。また、保育園がなくなることで更に産み育てる環境が悪くなり、人口が減少するのではないかと考えるが、どうか。
- A12（保育課長） 松川保育園の保護者からの意見についてですが、兄弟がいる場合の入園について上の子は卒園できるが下の子は廃止となってしまうので卒園できず転園となってしまうということについて質問がありました。転園については、保護者の希望をお聞きしながら対応していきたいという話をさせていただいたところです。また、新規入園児の受け入れはいつまで行うのかという質問もありましたので、令和12年度まで今まで通り行う予定であるということを回答させていただきました。
- A12（子ども部長） 産み育てる環境や人口減少については、市全体として、どのような子育て支援が必要か、ということを考えながら、例えば給食費の無償化等の支援により、一人でも多くの方に子育てしやすいと感じていただけるような環境を整備してまいりたいと考えています。
- 5 その他  
（保育課長） 本日いただきましたご意見等については、後日市公式ホームページで公表する予定となります。また、9月1日から計画素案に対するパブリックコメントも実施予定となります。

Q13 (参加者)

今回の座談会について、思っていたよりも参加者が少ないが、周知はどのようにしたのか。

A13 (保育課長)

広報なかの8月号、ライフビジョン、市内の子育て支援センター5施設へのポスター掲示、市内の私立保育所等への保護者への周知依頼・ポスター掲示を行ってきたところです。周知が足りなかった、ということであれば、今後に生かしていきたい。松川保育園の保護者については、事前に保護者説明会を現地とオンラインで行っていますので、本日の座談会への参加がなかったものを思われます。

6 閉会  
(保育課長)  
(終了時間)

午後0時05分